

TOWISE Ver.5.6.1.0／GUIDER ZERO Ver.1.1.5.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
CADパーツ	点パーツ「部品(プロット)」	点パーツ「部品(プロット)」グループへ新規記号を追加しました。 電子基準点、基本三角点、4等三角点等、街区三角点等、図根三角新設、多角点1、多角点2、細部図根1、細部図根2、開放路線節、仮想点、水準点 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
TOWISE CAD	図形基本属性設定	線幅の用紙幅を最大5mmまで指定可能でしたが、最大10mmまで指定できるようにしました。
TOWISE CAD	問合せ（2点間距離）	コマンド起動直後にPSのXに対して手入力した値が画面に反映されない件を改善しました。
TOWISE CAD	問合せ（線長）	クロソイド図形を選択するとフリーズする件を改善しました。
TOWISE CAD	地理院地図の設定	最新の「防災関連の情報等／基準点・測地観測／他機関の情報」の地図データを指定できるようにしました。
TOWISE CAD	地理院地図の設定	PDF形式で公開されている凡例情報等を設定画面で確認できるようにしました。 ※お使いのコンピュータの状態により表示できない場合もあります。
TOWISE TRIEDITOR	3Dビュー	3Dモデルの保存で点群又はTIN構成点をファイル形式「XYZファイル」に出力できるようにしました。
TOWISE BASIC GATE	3Dビュー	「TIN⇒CAD図形登録」の機能を追加しました。 TINの構成線を現在開いているCAD図面に図形として登録することができます。
TOWISE BASIC GATE	TOWISE⇒PatchJGD＜.in出力＞,PatchJGD⇒TOWISE＜.out入力＞	PatchJGD HVに対応しました。
TOWISE BASIC GATE	パート図	GNSSデータに対する線幅の指定がパート図に反映されない件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	パート図	紙への印刷で、プロットマークが印刷されない場合があった件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	パート図	線幅を10dotに設定している場合に指定した線幅で印刷されない件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	観測データ受信	地籍点検手簿登録時に等級で「筆界点」を指定できるようにしました。
TOWISE BASIC GATE	電子納品要領(案)設定	地籍要領案に「平成28年10月 地籍基本調査成果電子納品要領[被災地域]」を追加しました。 被災地域境界基本調査に関する成果管理項目の設定が行なえます。
測量CAD	成果作成レイアウト	背景色を白色に設定している場合に、図面作成のレイアウトで用紙枠が表示されない場合があった件を改善しました。
測量CAD	方向ベクトル線作図（測点） 方向ベクトル線作図（XYZ）	2点間距離の作図、ベクトル線との離れ量指定、DX,DY,DZ,距離の値を「ベクトル線に対して平行」に作図、が行えるようになりました。
現況CAD	観測現況展開	展開設定のタイプ「線・面」で「要素設定：線パーツ」を設定したとき、「ピッチ・幅」を実寸値で指定できる機能を追加しました。また、線パーツの設計時のピッチ幅比率を維持した入力もできるようになりました。

パッケージ名	機能	改良内容
測量計算	多角観測手簿,細部観測手簿,基準点観測手簿,基準点点検手簿,図根多角点手簿,突出点観測手簿,地籍点検手簿,地籍路線点検手簿,細部図根測量点検計算簿	天頂区分が「水平 0°」のときに計算書（各種手簿）の定数差が正しく計算できない場合があった件を改善しました。
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	肩符処理	H29地籍記載例の部分改定で、工程記号が名称構成に含まれることになったが、新たな構成で「BK-D1112-12A」のような名称にすると帳票出力で肩符処理されなかった件を改善しました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第5節＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	肩符処理	新点種別「34 細部図根節点(開放路線)」「35 細部図根点(開放路線)」も肩符処理されるようにしました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第5節／第8節-第1項＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	図根三角点網図,図根多角点網図,地籍図一覧図,細部図根点配置図,図根多角点選点手簿	以下種別に対応しました。 地籍図根多角点(一次)、地籍図根多角点(二次)、細部多角点(一次)、細部多角点本点、細部多角点(二次)、細部放射点、開放路線(節点)、開放路線(二次の細部放射点) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	図根三角点網図,図根多角点網図,細部図根点配置図,図根多角点選点手簿	それぞれ、図面種別を追加しました。 図根多角点網図(H29選点手簿)、図根多角点網図(H29観測図)、図根多角点網図(H29)、図根三角点網図(H29観測図)、図根三角点網図(H29)、細部図根点配置図(H29観測図)、細部図根点配置図(H29) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(CD工程編)	図根多角点選点手簿	以下種別に対応しました。 地籍図根多角点(一次)、地籍図根多角点(二次)、細部多角点(一次)、細部多角点本点、細部多角点(二次)、細部放射点、開放路線(節点)、開放路線(二次の細部放射点) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	図根点成果簿(数値データ)(厳密網),図根点成果簿(数値データ)(簡易網),細部図根点成果簿数値データ	変換対応表設定の[図根点]の[図根点種別]タブへ「34 細部図根節点(開放路線)」「35 細部図根点(開放路線)」を追加しました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	図根点番号自動	新路線名形式に対応しました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第5節＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	地籍-測点D Bシート	「34 細部図根節点(開放路線)」「35 細部図根点(開放路線)」の点種別を追加しました。また、次数自動設定で新路線名形式に対応しました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(CD工程編) 地籍測量(FG工程編)	地籍点検手簿	等級に「筆界点」を追加しました。また、新帳票「一筆地測量（放射法）の点検」を追加しました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第19条-4＞
地籍測量(FG工程編)	New! 距離計算簿自動作成(放射法)	地籍測量の放射法による細部図根測量で距離補正計算するために突出点観測手簿などから距離計算簿パートを作成できる新規コマンドを用意しました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 別表第20＞
地籍測量(FG工程編)	座標計算簿(放射法)	観測記簿の出力で、距離補正計算を行った場合は「基準面上の距離」を出力するようにしました。また、従来動作で「平面距離」を出力する場合は「水平距離」は出力されないようになっていましたが「水平距離」も出力するようにしました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 別表第20＞
地籍測量(FG工程編)	細部図根測量精度管理表	「点検高低」に対応し、帳票「細部図根測量精度管理表(点検計算)」へ「点検高低」結果を出力できるようにしました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 第34条の9 および 別表第18＞

パッケージ名	機能	改良内容
地籍測量(FG工程編)	細部図根測量点検計算簿	検測点の距離補正計算に対応し、平面距離で点検できるようにしました。パート入力に「精度区分」列と「距離補正計算」列を追加し、「精度区分」列には、突出点観測手簿パートの「精度区分」を表示し「甲 1・甲 2」だけを対象にすることができます。「距離補正計算」列で「する」を選択した手簿の検測点のみ距離補正計算を行います。観測記簿の出力では、距離補正計算を行った検測点について「基準面上の距離」と「平面距離」を出力し、「水平距離」も出力します。また、座標計算書の出力では、距離補正計算を行った検測点については、「平面距離」を使用します。新帳票「距離計算簿(放射法)(点検)」も追加し「距離補正計算」を「する」にした手簿パートの検測点のみが出力対象となります。(新帳票は距離計算簿作成コマンドの地籍の様式「距離計算簿(地籍 H.23)」と同じ様式) ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 別表第20＞
地籍測量(FG工程編)	細部図根点配置図	新規導入時のコマンドの成果図面タイトル初期値を「細部図根点網図」にしました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 第36条の2＞
地籍測量(FG工程編)	地籍開放トラバース	計算時登録する測点の種別を新たに追加した「34 細部図根節点(開放路線)」または「35 細部図根点(開放路線)」にしました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(FG工程編)	地籍-計算条件設定	「細部図根測量 - 計算値の制限」に「標高の閉合差」を、「一筆地測量」に「点検測量の較差の許容範囲」を追加しました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 第34条の9 および 別表第18＞ ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第19条-4＞
地籍測量(FG工程編)	地籍-計算条件設定	「地籍図根多角測量-図根多角点選点手簿の標識形状」の種別に以下が指定できるよう追加しました。 地籍図根多角点(一次)、地籍図根多角点(二次)、細部多角点(一次)、細部多角点本点、細部多角点(二次)、細部放射点、開放路線(節点)、開放路線(二次の細部放射点) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(FG工程編)	番号図⇒地籍図変換	設定追加できる種別に以下を追加しました。 開放路線(節点)、開放路線(二次の細部放射点) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(FG工程編)	筆界点番号図、地籍図原図	以下種別に対応しました。 地籍図根多角点(一次)、地籍図根多角点(二次)、細部多角点(一次)、細部多角点本点、細部多角点(二次)、細部放射点、開放路線(節点)、開放路線(二次の細部放射点) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(FG工程編)	筆界点番号図、地籍図原図	構成要素色による塗り潰しプロットに対応しました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍測量(FG工程編)	筆界点番号図、地籍図原図	それぞれ、図面種別を追加しました。 番号図(H29)、地籍図(H29) ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍2000コンバータ	地籍2000書出	変換対応表設定の[図根点]の[図根点種別]タブへ「34 細部図根節点(開放路線)」「35 細部図根点(開放路線)」を追加しました。 ＜地籍記載例H29.03一部改訂(案)対応 第8節-第1項＞
地籍2000コンバータ	地籍2000読込	稀に所有者情報の誤取得があった件を改善しました。
水準網平均計算	水準測量観測手簿	水準観測手簿の観測月日の平均の算出結果が、例えば8/4→8/5と8/5→8/4で結果が異なっていた件を改善しました。また「固定点間の高低差」の帳票で31日のデータの「日付」が出力されなかった件も改善されています。
GNSS 地形応用	New! 既知点整合確認(細部図根点)	単点観測法による細部図根測量用の既知点整合確認を行う新規コマンドを用意しました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第13条／第16条-2＞
GNSS 地形応用	New! 既知点整合計算点検計算(細部図根点)	単点観測法による細部図根測量用の既知点整合計算点検計算を行う新規コマンドを用意しました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第16条-4＞

パッケージ名	機能	改良内容
GNSS 地形応用	New! 作業フロー	作業フロー(地籍測量・RTK/細部図根)を新設し、単点観測法による細部図根測量作業を集約しました。また、作業フロー(地籍測量・RTK/一筆地)も新設し、単点観測法による一筆地測量作業を集約しました。従来の作業フロー(地形応用・RTK/一筆値)は作業フロー(地形応用・RTK)へ名称変更して残しています。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応＞
GNSS 地形応用	New! 整合点検計算(細部図根点) 自動作成	既知点整合計算点検計算(細部図根点)用の実測距離を現地でTSの「境界点検観測」コマンドで保管し、TOWISE側で境界点検観測手簿作成したパートを活用して、既知点整合計算点検計算(細部図根点)パートを自動作成できる新コマンドを用意しました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第16条-3/第16条-4＞
GNSS 地形応用	既知点整合計算	計算方法を学習し、新規パートを開いたときに初期表示するようにしました。RTK観測結果データでEDIファイルを取得した場合も計算方法をシステム内に記録して利用します。
GNSS 地形応用	既知点整合計算点検計算(筆界点)	与点新点の対象仕様を調整しました。与点入力時は「座標補正に使用した既知点」以外の既知点の観測平均座標値を画面へセットし、新点入力時は既知点整合計算点検計算の点検対象となる筆界点の観測平均座標値(変換前座標)を画面へセットします。計算に用いる与点-座標変換後の座標値は「与点-点検測量の座標値」のために観測した既知点の成果値を使用し、新点-座標変換後の座標値は既知点整合計算点検計算の点検対象となる筆界点の既知点整合計算結果座標値を使用します。
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点 GNSS地形応用	GNSS測量計算条件設定	「RTK地形・応用」に「既知点整合確認(細部図根点)」、「精度管理表(細部図根点)」、「既知点整合計算点検計算(細部図根点)」、「精度管理表(一筆地)」を追加しました。 また、新規作業管理で条件が生成されるとき作業区分が「細部図根測量」の場合は点検計算簿の平均座標の出力を自動的にOnにするようにしました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第13条／第16条-2、第15条、第16条-4、第19条-3＞
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点 GNSS地形応用	New! 精度管理表(地籍測量・一筆地)(H.29)	一筆地測量の単点測量の点検で使用する許容範囲が明確になったため適合する新規コマンドを用意しました。また、混同しないよう従来の「精度管理表(地籍測量・一筆地)」コマンドは「精度管理表(地籍測量・一筆地)(H.24)」へコマンド名変更しました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第19条-3＞
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点 GNSS地形応用	New! 精度管理表(地籍測量・細部図根点)	単点観測法による細部図根測量用の精度管理表を作成する新規コマンドを用意しました。 ＜単点観測法による細部図根測量マニュアル対応 第15条＞
GNSSスタティック基準点	アンテナ位相特性データ設定	ネットワークを経由してアンテナ位相特性データを最新にするオンライン更新機能について、稀に「オンライン更新情報が取得できませんでした。」というエラーメッセージが表示され、更新できなかった件を改善しました。 また、手動更新で位相特性ファイル(JSIM_ANT.001)又はアンテナ更新データ(Update.ini)をインポートを行う際に、半角128文字よりも長いファイルパスを指定するとエラーが発生する件を改善しました。
GNSS 網平均計算	成果数値データ出力(公共測量)	ジオイド高を出力するよう改善しました。
GNSSスタティック基準点 GNSS RTK基準点	精度管理表(水準測量)	GNSS水準の標準様式に合わせて2つの様式を用意していますが、それぞれ「新点の楕円体高の標準偏差」の表が無い様式「精度管理表(水準測量)(新点位置無)」「精度管理表(水準測量)(仮定網・新点位置無)」を追加しました。 ＜GNSS測量による標高の測量マニュアルH29改正対応 第19条の7＞
GNSS スタティック基準点	隣接既知点の取付	取付観測基線の基線解析結果を用いた点検の際、出力帳票「点検値」欄が0になっていた件を改善しました。
GNSS RTK基準点 GNSS地形応用	RTK観測結果データ	RTK/EDI同時取得時に整合計算を実施しないオプション「観測および整合データの同時読み込みで整合計算を行なう」を追加しました。また、その設定と画面の「地形応用データ」「現況データ登録」に関して学習するようにしました。EDIファイルを読み込んだとき、以降既知点整合計算の新規パートを開くと取得した計算方法を初期表示するようにしました。
区分建物	専有部	専有部(タイプ形状)を上下反転又は左右反転で配置している場合に、タイプ形状の「吹抜け」及び「離れ」の図化が正しくされない場合があるのを改善しました。

TOWISE Ver.5.6.1.0／GUIDER ZERO Ver.1.1.5.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
区分建物	専有部	区分建物（専有部）で壁圧に奇数を入力している場合に、図面作成した結果で辺長と求積表の値で 1 mmの誤差が出来る場合があるのを改善しました。 既存パートについては、求積処理（再計算）を行うことで値が更新されます。
現況DM編集	DM展開設定	データタイプ「線・面」で「要素設定：線パーツ」を設定したとき、「ピッチ・幅」を実寸値で指定できる機能を追加しました。また、線パーツの設計時のピッチ幅比率を維持した入力もできるようになりました。
コンタ自動作成	New! コンタ自動作成	これまでDataEditorで開いたCADドキュメントでのみ利用可能でしたが、TOWISE-CAD/GUIDER ZEROでも動作できるようになりました。※GUIDER ZEROでは測点のZ値を利用してコンタ自動作成を実行することができます
コンタ自動作成	コンタ自動作成	図形要素の標高値だけでなく、図形構成点座標のZ値をコンタ自動作成に利用できるようになりました。
登記申請支援	一棟建物申請	「一棟の建物の表示」の所在表記が「○×番」から「○×番地」になるよう改善しました。
登記申請支援	一棟建物申請	登記の目的に「建物表題登記」を含み、登記の原因が「新築」の場合、「一棟の建物の表示」の「原因及びその日付」を出力しないよう改善しました。
登記申請支援	一棟建物申請	「オンライン申請」で一棟建物の申請情報「所在」に「建物-管理情報」の「建物の所在－所在 1」の情報を取り込む機能を追加しました。
登記申請支援	一棟建物申請	「オンライン申請」で専有部の申請情報「地番区域」および「家屋番号」を一括編集する機能を追加しました。
登記申請支援	オンライン申請情報調整	一棟建物で専有部を含むオンライン申請を行う場合に、専有部を 1 物件として複数の専有部を一括で出力する機能を追加しました。
登記申請支援	オンライン申請情報調整	一棟建物の専有部の「床面積」に階数を出力するよう改善しました。
登記申請支援	土地登記申請 普通建物申請 一棟建物申請	オンライン申請への出力で「添付書類」の改行場所を指定できる機能を追加しました。
基準点共通計算	精度管理DBメンテナンス	「点検高低」の「観測区分」に「細部図根」を追加しました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 第34条の9 および 別表第18＞
基準点共通計算	点検計算(水平)	閉合 2 のとき、制限値計算に利用する測点数が 1 少なかった件を改善しました。
基準点共通計算	点検計算(高低)	パート入力の「等級」に細部図根点(甲 1)～(甲 3)、細部図根点(乙 1)を追加し、計算条件に今回追加する「標高の閉合差」の制限値で点検が行えるようにしました。 ＜地籍測量準則運用基準H29改正対応 第34条の9 および 別表第18＞
GUIDER ZERO基本機能	New! 交点計算情報	交点計算情報のデータベースを追加しました。平行観測の平行点を算出した交点情報や、オフセット点登録、4 点交点登録の計算情報が登録されます。交点計算情報の一覧コマンドでは内容の確認、再計算などを行なうことができ、交点計算情報はTS観測DBによる再計算でも利用します。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測 ＜平面観測プロトコル＞	目標高の指定間違いなどによる訂正情報で観測済みの点を更新できるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	TS観測 ＜平面観測プロトコル＞	TS側の平面観測で訂正データを開き、Enterキーを押し続けて観測データを連続送信すると、送信データが一部欠落することがあった件を改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	現況属性設定	現況属性設定のタイプ「線・面」で「要素設定：線パーツ」を設定したとき、「ピッチ・幅」を実寸値で指定できる機能を追加しました。また、線パーツの設計時のピッチ幅比率を維持した入力もできるようになりました。
GUIDER ZERO基本機能	整列	CAD図形の整列機能を実行すると動作が止まっていた件を改善しました。

TOWISE Ver.5.6.1.0／GUIDER ZERO Ver.1.1.5.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GZ-MAX	New! 図面座標変換	図面に登録されている測点やCADデータ全てを一括で座標変換するコマンドを追加しました。変換後の測点情報を用いてTS観測DBや交点計算情報による再計算も行うことが可能で、全てのデータを精度よく変換できるようになります。
GZ-MAX	TS観測 <平面観測プロトコル>	平行設定、ストック観測が利用できるようになりました。
SKY Controller	GNSS観測	以下のアンテナに対応しました。 ・Zephyr 3 Rover ・Zephyr 3 Base
SKY Controller	GNSS観測	みちびき2号機に対応しました。また衛星情報画面ではこれまで193で表示していたみちびき初号機を1に変更し、みちびき2号機は2で表示します。
SKY Controller	GNSS観測 エポック観測	GNSS観測でエポック観測中、取得位置が移動前位置(前観測点)近辺になることがあった件を改善しました。

2017年10月 株式会社 ニコン・トリプル